

大会名 Competition	ウインターカップ2022 秋田県予選会				
NO.	0 M 2	Year	Month	Day	Time
場 所 Place	横手市増田体育館				

チームA		チームB										
能代科技	<table border="1"> <tr><td>22 1st</td><td>10</td></tr> <tr><td>21 2nd</td><td>21</td></tr> <tr><td>22 3rd</td><td>16</td></tr> <tr><td>24 4th</td><td>18</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	22 1st	10	21 2nd	21	22 3rd	16	24 4th	18	OT		秋田西
22 1st	10											
21 2nd	21											
22 3rd	16											
24 4th	18											
OT												
89 ○		65 ●										

Crew Chief
谷 地 温
Umpire 1
田 村 高光
Umpire 2
田 中 直幸
Table officials

増田高等学校
男子バスケットボール部

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	相 原 一 生	CAP	15	3	3	0	3	4	／	杉 沢 亮 夢	CAP	28	2	6	10	2
5	×	安 田 圭 汰		13	0	6	1	3	5	×	米 谷 碧 海		2	0	1	0	1
6	×	石 津 光 彩		9	0	4	1	3	6	×	齋 藤 太 智		11	0	4	3	1
7	×	渡 邊 直 洋		26	1	10	3	4	7	×	小 橋 汰 右		5	0	2	1	3
8	×	杉 本 唯 斗		3	1	0	0	3	8	×	伊 藤 良 我		4	0	1	2	0
9	／	高 橋 輝		0	0	0	0	0	9	×	佐 藤 遥 輝		12	2	3	0	2
10	／	梅 山 和		0	0	0	0	1	10	／	工 藤 太 陽		3	0	0	3	0
11	／	鳥 海 夏 希		0	0	0	0	0	11		工 藤 星		-	-	-	-	-
12	／	葛 西 皇 亮		0	0	0	0	0	12		奈 良 琉 音		-	-	-	-	-
13	／	中 野 珠 斗		17	1	7	0	2	13		八 柳 陸 人		-	-	-	-	-
14	／	大 高 琉 翔		0	0	0	0	0	14		奥 田 大 介		-	-	-	-	-
15	／	関 口 創 介		0	0	0	0	0	15		小 助 川 蓮		-	-	-	-	-
16	／	小 田 崑 柊 斗		6	2	0	0	0	16		山 本 快		-	-	-	-	-
17	／	伊 藤 賑 一		0	0	0	0	0	17		土 田 翔 唯 斗		-	-	-	-	-
18		佐 藤 楓 生		-	-	-	-	-	18		遠 藤 眺 希		-	-	-	-	-
19		佐 藤 綾 真		-	-	-	-	-	19		阿 部 海 音		-	-	-	-	-
20		岸 真 矢		-	-	-	-	-	20		齋 藤 大 河		-	-	-	-	-
21		見 上 匠		-	-	-	-	-	21		小 浜 大 和		-	-	-	-	-
コチ		小 松 元							コチ		江 畠 尚						
Aコチ		佐 藤 潤 也							Aコチ		小 玉 奈 那						
合 計				89	8	30	5	19	合 計				65	4	17	19	9

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

男子決勝は5年連続の同一カード。5年連続のウインターカップ出場を目指す能代科技と、去年の決勝で終了間際に勝利を逃した雪辱を果たしたい秋田西の対戦となった。

第1Qは両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。能代科技は#5安田のミドルで先制すると、#6石津のミドル、#7渡邊のドライブと着実に加点し能代科技のペースで試合が進む。秋田西も#8伊藤良や#7小橋がドライブを決めるが、外角シュートの確立が上ならず我慢の時間が続く。能代科技は#5安田がオフェンスリバウンドをねじ込み、さらに#4相原がスティールからレイアップを決めて14-4とリードを広げたところで秋田西はタイムアウトを請求。その後も能代科技は#7渡邊や#13中野が思い切りのいいシュートを決め、22-10と能代科技のリードで1Qを終える。

第2Q、差を詰めたい秋田西だが、セットオフェンスでノーマークを作るもののシュートがなかなか決まらない。逆に能代科技にディフェンスリバウンドから#7渡邊がプッシュして得意の速い展開に持ち込み残り7分で32-14と差を広げる。秋田西は残り6分を切ったところでゾーンディフェンスを仕掛け勝負に出ると、ここで能代科技が攻めあぐね得点が止まる。秋田西はディフェンスリバウンドを確実にもぎ取り、#4杉沢のフローターや#5米谷のレイアップが決まり秋田西が差を詰めていく。秋田西は#4杉沢が力強いドライブを中心にオフェンスを展開し、終盤には#6齋藤がオフェンスリバウンドをねじ込んで盛り返し、43-31と能代科技リードで前半を終えた。

第3Q、能代科技はマンツーマンディフェンス、秋田西はゾーンディフェンスでスタート。能代科技が#4相原が3Pを連続で決めると、秋田西は#9佐藤がドライブや3Pで入れ返し互角の展開となる。秋田西は#9佐藤のミドルや#4杉沢の3Pで加点すると、能代科技は#4相原が高確率で3Pを沈め主導権を渡さない。高さの優位がある能代科技はディフェンスリバウンドから速い展開に持ち込み#7渡邊がミドルやドライブで加点し、65-47と能代科技がリードを広げて3Qを終えた。

第4Q、序盤に秋田西はシュート力のある#9佐藤が負傷して交代すると、ここから#4杉沢がミドルに3Pと気迫のこもったプレーでチームを牽引し、残り5分では#6齋藤がコートサイドはじかれたルーズボールに飛びつき#4杉沢の3Pにつなげて会場を沸かせる。対する能代科技は#7渡邊と#13中野がドライブや3Pで加点し、終盤には#16小田崑が3Pを決めて秋田西を突き放し、89-65でタイムアップ。終始リバウンドから速い展開に持ち込み、外角シュートを確実に沈めた能代科技が、能代工業時代から数えて通算51回目のウインターカップ出場を決めた。